

カリキュラムと修了要件 (前期課程)

科目区分		言語コミュニケーション能力養成科目		領域研究科目				実習科目	演習科目			修了必要 単位数		
授業科目の名称 (単位数)		<p><基礎科目> 言語コミュニケーション文化特論 (2) 異文化コミュニケーション論 (2) スピーチ・コミュニケーション論 (2) ことばと文化 (2) 英語と文化 (2)</p>		<p><運用能力養成科目> [英語科目] 英語インテンシブ・リスニング (2) 英語オーラル・プレゼンテーション (2) 英語ディベート (2) 英語クリエイティブ・ライティング (2) 英語アカデミック・ライティング (2) [フランス語科目] フランス語論文作成 (2) フランス語読解 (2) フランス語コミュニケーション (2) [ドイツ語科目] ドイツ語論文作成 (2) ドイツ語読解 (2) ドイツ語コミュニケーション (2) [中国語科目] 中国語論文作成 (2) 中国語読解 (2) 中国語コミュニケーション (2)</p>		<p><言語科学領域> 言語科学 (2) 音声科学 (2) 言語構造論 (2) 言語意味論 (2) 言語表現論 (2) 対照言語学 (2) 言語語用論 (2) 辞書学 (2) コーパス言語学 (2)</p> <p><言語文化学領域> 言語文化学 (2) 比較文化学 (2) 異文化理解 (2) 思想と文化 (2) 批評と文化 (2) 演劇学 A (2) * 演劇学 B (2) * 映画学 A (2) * 映画学 B (2) * 多言語主義・多文化共生 (2) 日本文化 A (2) * 日本文化 B (2) *</p> <p><言語教育学領域> 言語教育学 (2) 第二言語習得 (2) 言語学習心理学 (2) カリキュラムデザイン (2) 授業分析 (2) 教育評価 A (2) 教育評価 B (2) 言語教育研究法 (2) 英語教育法 (2) 英語教育教材研究 (2) 小学校英語教育実践 (2) 早期英語教育理論 (2) 英語教育実践 (2) 英語教授法実践 (2) 【注2】</p> <p><日本語教育学領域> 日本語教育学概論 (2) 日本語音声教育 (2) 日本語文字・表記教育 (2) 日本語語彙・文法教育 (2) 言語習得と日本語教育 (2) 言語社会と日本語教育 (2) 日本語会話分析法 (2) 日本語フィールド調査法 (2) 日本語翻訳論 (2) 日本語と中国語の翻訳研究 (2) 日本語と英語の翻訳研究 (2) 日本語教育トピックス (2)</p>				日本語教育実践 I (3) 日本語教育実践 II (3)	研究演習 I (2)	研究演習 II (2)	課題研究 (2)	
言語科学領域	言語科学プログラム	修士論文コース		2単位	・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目 } の中から6単位		14単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—	30単位	
		課題研究コース			・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目 } の中から8単位		16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	—	—	4単位		
		スターリング 大学ダブル ディグリーコース	IELTS6.5 以上に 相当する者		英語科目の中から4単位 (1年春学期に履修)		16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—		
			IELTS6.5 未満に 相当する者		英語インテンシブ・リスニング 英語オーラル・プレゼンテーション 英語アカデミック・ライティング	6単位必修 (1年春学期に履修)	14単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—		
言語教育学領域	言語教育学プログラム	修士論文コース		・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目 } の中から6単位		14単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—	30単位		
		課題研究コース		・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目 } の中から8単位		16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	—	—	4単位			
		スターリング 大学ダブル ディグリーコース	IELTS6.5 以上に 相当する者	英語科目の中から4単位 (1年春学期に履修)		16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—			
			IELTS6.5 未満に 相当する者	英語インテンシブ・リスニング 英語オーラル・プレゼンテーション 英語アカデミック・ライティング	6単位必修 (1年春学期に履修)	14単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—			
		英語教員対象 1年制修士学位コース		—		24単位	(英語教授法実践2単位とそれ以外の言語教育学プログラムの領域研究科目18単位を含む)	—	4単位	—	—			
言語文化学領域	地域文化研究 プログラム	・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目 } の中から6単位		14単位	(各語圏文化の2単位とそれ以外の言語文化学の領域研究科目2単位を含む)	—	4単位	4単位	—	30単位				
	多言語 多文化学際 プログラム	・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目 } の中から2単位		18単位	(多言語主義・多文化共生の2単位とそれ以外の言語文化学の領域研究科目2単位を含む)	—	4単位	4単位	—					
	映像演劇文化 プログラム	・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目 } の中から2単位		18単位	(演劇学 A・B、映画学 A・B の中からの2単位とそれ以外の言語文化学の領域研究科目2単位を含む)	—	4単位	4単位	—					
日本語教育学領域	プロフェッショナル プログラム 【注3】	【注1】		16単位	(日本語教育学の領域研究科目10単位を含む)	6単位	—	—	—	30単位				
	アカデミック プログラム 【注3】	【注1】		22単位	(日本語教育学の領域研究科目8単位を含む)	—	4単位	4単位	—					
	日本学 ダブルディグリー プログラム 【注4】	【注1】		22単位	(日本語教育学の領域研究科目8単位を含む)	—	—	—	—					

【注1】日本語教育学の各プログラム生が「ことばと文化」、フランス語科目、ドイツ語および中国語科目を除く言語コミュニケーション能力養成科目を履修するためには、TOEFL500点 (ITPを含む Paper-based) の点数。Internet-Based は 61 点) 以上または TOEIC (TOEIC-IP を含む) 600 点以上の有効なスコアを有することを条件とする。

【注2】英語教授法実践は、英語教員対象1年制修士学位コース学生以外は履修不可。

【注3】実習科目が必修である「プロフェッショナルプログラム」と実習科目を履修しない「アカデミックプログラム」は、入学試験出願時に本人が申請する。

ただし、教育機関での日本語教育経験が3年未満の者は、「アカデミックプログラム」は選択できない。

【注4】日本学ダブルディグリープログラムは、海外交流協定校特別学生入学者専用。一般入試等での選択不可。

☆領域研究科目の開講原則：4学期間に昼2回 (言語科学と言語教育学は昼と夜を各1回) 開講する。ただし、*の科目は隔年開講を原則とする。